

# 平成27年度事業報告

平成27年4月1日より平成28年3月31日まで

## 1. 【事業成果】

平成27年度立ち上げた「生物多様性保全部会」は、実践を中心に活動をスタートし、身近に忍び寄る外来植物の除去作業を通じて生物多様性危機を肌で感じる事ができた。「里山保全部会」は、定例の整備作業に加え、環境学習センター講座の企画運営やフィールドの提供を通して事業連携を深める事ができた。「再生可能エネルギー部会」は、月例勉強会に加え県外研修を積極的に実施、その成果を環境学習センター常設展示場のパネルに反映する事ができた。また、「情報部会」は、新しく立ち上げたホームページで、活動状況をこまめにアップする事ができた。

受託事業である宇都宮市環境学習センターは、指定管理者第2期（26～30年度）の2年目を終了した。新しいセンター長のもと、事業内容をさらに充実強化する事ができた。

## 2. 【事業計画と成果】（細部は別添資料「平成27年度事業実施報告書」を参照）

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	成果
1) ホームページの運営 <b>【運営：情報部会】</b> 26年度末全面改訂したホームページの内容を充実し活動の見える化を進める。各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、機能の充実を図る。 さらにメルマガ等を活用し、会員へのホットな情報発信にもつとめる。	<b>【運営：情報部会】</b> 維持しやすくなったホームページを生かしてフォーラム活動を月2回のペースでアップした。 各主体の環境情報リンクは十分に果たすことはできなかった。今後も、メルマガ発信を含め、精力的に情報発信につとめたい。
2) 会報誌（Eco together）の発行 <b>【運営：情報部会】</b> 特集記事の企画、会員の登場、他団体と連携した紙面づくりを行い、タイムリーな環境情報を掲載する。平成27年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりに留意する。 発行予定回数：4回（6月、9月、1月、3月） 配布先：従来の会員に加え関係団体・機関へも配布	<b>【運営：情報部会】</b> 会報誌（Eco together）の発行部会活動を中心に写真を多用した親しみやすい紙面構成にした。「環境クイズ」を復活し、新しい情報の提供につとめた。 ・発行回数：4回（7月、9月、1月、3月） ・配布先：会員、関係団体、一般 <b>【発行部数 約250部*4回】</b>
3) 環境イベントへの参画 <b>【運営：情報部会】</b> 下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRと入会につとめる。 ① もったいないフェア（9月予定） 場所：宇都宮城址公園 ② エコもりフェア（10月予定） 場所：栃木県子ども総合科学館 ③ その他環境イベント	<b>【運営：情報部会】</b> ① もったいないフェア2015 9月27日（日） ブース来場者307人 ② エコ・もりフェア2015 10月3日（土） 同260人 ③ エコテック&ライフとちぎ2015 12月5日（土）～6日（日） 同173人 ④ 環境学習センター「エコまつり2016」 3月4日（金）～3月6日（日） 来館者 2,542人 <b>【来場者合計：約3,300人】</b>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b>                      行政、他団体と協力して生物多様性保全に関する事業を展開し、生物多様性保全に直接寄与するとともに、市民参加の場を提供する。</p> <p>① 参加体験型行事を中心に実施                      ② より正しく、効果的な行動を選択できるよう、生物多様性及びその保全に関する学習を積極的に行う。</p>	<p><b>【運営：生物多様性保全部会】</b></p> <p>① 春の外来種除去作業 5～6月に3回                      場所：環境学習センター周辺                      除去：セイタカアワダチソウ、ハルジオン、ヒメジュオンなど</p> <p>② 秋の外来種除去作業 10月14日                      場所：クリーンパーク茂原グランド周辺                      除去：セイタカアワダチソウ</p> <p><b>【参加者合計：約20人】</b></p>
<p><b>【運営：星空観察部会】</b>                      環境団体との協働で市民が気軽に参加し楽しく学べる機会の提供</p> <p>① 星空観察会（1月）                      ② 環境学習センター支援事業                      「天体望遠鏡づくり講座」、                      「星空観察会」 の企画運営</p>	<p><b>【運営：星空観察部会】</b></p> <p>① 1月30日に計画した星空観察会は、当日に雪が降り実施できなかった。</p> <p>② 環境学習センター支援事業                      「天体望遠鏡づくり講座」                      7月26日（日）午前・午後の2回                      場所：環境学習センター                      スタッフ6人 受講者89人（親子）</p> <p>「冬の星空観察会」                      12月12日（土）                      場所：環境学習センター                      スタッフ7人 受講者65人（親子）</p> <p><b>【参加者合計：約170人】</b></p>
<p><b>【運営：里山保全部会】</b>                      里山環境の保全と環境学習の場の提供</p> <p>① 里山の保全活動：                      毎月第3日曜日午前中に保全作業を行なう。                      ② 環境学習センター事業「自然体験分野」の支援 及び地域の環境活動支援</p>	<p><b>【運営：里山保全部会】</b></p> <p>① 里山環境の保全…継続活動                      （毎月第3日曜日）                      場所：みずほの里山保全地 延べ44人</p> <p>② 環境学習・環境教育の場の提供</p> <p>A) 環境学習センター支援事業                      「自然観察とフィールドビンゴ」4月18日（土）                      「ネイチャーゲーム」5月24日（日）                      「丸太切りと笹刈り」6月27日（日）                      「セミ羽化観察」7月26日（日）                      「落ち葉さらいと焼きいも」12月20日（日）                      「バームクーヘンをつくろう」2月6日（土）                      「野鳥観察会」1月10日（土）/2月7日（土）                      「落ち葉さらいと焼きいも」2月21日（日）                      場所：みずほの里山保全地周辺                      &lt;延べ人数/スタッフ31人参加者306人&gt;</p> <p>B) 瑞穂台小学校体験学習 10月9日（金）                      場所：みずほの里山保全地周辺                      スタッフ6人 参加者40人</p> <p>C) ツリフネソウ観察会 9月13日（日）                      場所：みずほの里山保全地周辺                      参加者4人</p> <p><b>【参加者合計：約430人】</b></p>

<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b> 27年度は「水素」を主テーマに再生可能エネルギー創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探る機会の提供。</p> <p>① 勉強会・施設見学会・実践者との懇談会等の実施（毎月）</p> <p>② 参加メンバーの募集</p> <p>③ 環境学習センター支援事業 ・「栃木の再生可能エネルギー施設見学会（バイオガス発電他）」の企画運営 ・「チャレンジもったいない」等環境イベントへの参加 （太陽熱温水器模型キット制作他）</p>	<p><b>【運営：再生可能エネルギー部会】</b></p> <p>① 月例勉強会をテーマごとに部員が講師を担当し継続実施した。また、次の外部研修を実施した。 6月 東京ガス宇都宮支社訪問/エネファーム調査 6月 福島・布引風力発電所他を見学 12月 東京・水素ステーション他を見学</p> <p>② 新規会員 1名を獲得</p> <p>③ 環境学習センター支援事業 8月「チャレンジもったいない2015」に出展 10月「地球温暖化に取り組む先進の施設見学会」を企画運営、大きな反響 3月「エコまつり2016」に出展</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約230人】</b></p>
--	---

(3) テーマに応じた環境の企画・実践に係る事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：事務局】</b> 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。</p> <p>① 野鳥観察会 ② プチ農業体験</p>	<p><b>【運営：事務局】</b></p> <p>① 野鳥観察会を、日本野鳥の会とちぎと共催で春・冬の2回実施 104人</p> <p>② 天日干し（地域活動支援事業） 地元さつきプロジェクトとの共催で、農家の畑をお借りしてお米をつくり田植え、稲刈り等。 5月4日（月）～10月12日（日）4回 247人</p> <p>③ 講演会にパネラーとして参加、フォーラム活動を紹介する。5月16日（土）宇都宮大学 50人</p> <p>④ 県助成金を得て、環境教材を開発 6月～3月 今後、環境教育に活用する。</p> <p>⑤ 宇都宮工業高校で環境講座を開催 3月2日（水） 「ごみと下水のゆくえ」を講義 320人</p> <p style="text-align: right;"><b>【参加者合計：約720人】</b></p>

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画	成果
<p><b>【運営：学習センター事業部】</b> 平成27年度は、指定管理者第2期の2年目にあたる。年間利用者3万人超えを安定的に確保できる実力はついてきた。27年度は新体制のもとに、事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を狙いたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めていく。</p>	<p><b>【運営：学習センター事業部】</b> 指定管理者第2期2年目は、引き続き事業内容の充実と広報を強化したが、エコまつりの来館者減の影響により、来館者数は32,497人で、年度当初目標32,000人は上回ったものの、昨年度比では97%にとどまった。 しかし、一般来館者と自主G等の利用者数は前年度を上回っている。</p>

<p>1) 環境学習機会提供機能 「地球温暖化」と「生物多様性」を重点テーマに、講座の充実を図るとともに、新しい参加者層獲得のため託児機能付き講座を試行する。また、企業・社会人向け見学を拡充し、栃木県最大のごみ発電能力のあるクリーンパーク茂原の学習機会を提供する。</p> <p>2) 活動支援機能 事務局を担当する宇都宮市「こどもエコクラブ」の活性化、自主活動グループの活動支援、また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての参加を働きかける。</p> <p>3) 交流促進機能 自主活動グループ、地元自治会、各種団体、企業等の支援をいただき今年度も「エコまつり」を開催し、新たに市民の参加を開拓する。</p> <p>4) 情報提供機能 26年度末に全面改訂したホームページ（FaceBook含む）での情報発信力強化、1階展示場の改善、再生品提供事業、視聴覚教材、各種環境団体、企業などの情報提供を充実する。</p> <p>5) 体質強化機能 市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。</p> <p>6) 市民サービスの向上 フォーラムを含め外部評価を積極的に実施し事業運営に反映する。</p>	<p>1) 環境学習機会提供機能 ・「地球温暖化」を重要テーマに環境大学、施設見学会等を実施した。 ・「生物多様性」にも着目し、生物多様性連続講演会第1回を実施したほか、親子の川遊び、足尾で植樹、渡良瀬遊水地での講義と実践等を行った。 ・見学者数は前年度とほぼ同人数であった。</p> <p>2) 活動支援機能 ・うつのみや自然探検隊の活性化に努めた。自治体登録数で比較すると、登録数で全国1位、メンバー数で全国2位となっている。 ・自主グループは、新規グループが立ち上がり計10グループとなった。 ・また、イベントでは、フォーラム会員にもスタッフとしてサポートしていただいた。</p> <p>3) 交流促進機能 ・昨年に続き宇都宮工業高校と連携、廃棄自転車を利用したマイカ水力発電装置を製作、釜川に設置した。今年はイルミのほか、ミヤリーのドキドキセンサー（相性診断装置）を設置し、多くの方に楽しんでもらった。（2月22日BSフジ放映） ・「チャレンジもったいない」、「エコまつり」を実施、自主活動G、地元自治会、各種環境団体等の支援を得て成功裡に終了した。</p> <p>4) 情報提供機能 ・ホームページを全面更新し、情報発信力を強化した。また、フェースブックを活用し、旬な情報をリアルタイムで発信してきた。</p> <p>5) 体質強化機能 ・教育等を毎月実施し、職員のスキルアップに努めたほか、朝会、夕会等で情報の共有化に努めた。</p> <p>6) 市民サービスの向上 ・各講座ごとにアンケート調査を実施。また、館内に意見箱を設置し、ニーズ/クレームを継続的に把握し対応した。</p> <p>利用者目標人数 32,000 人 【実績人数：32,497 人（前年度比 97%）】</p>
--	---